



NORWEGIAN CRUISE LINE®

ノルウェージャンクルーズライン

3年ぶりの日本寄港を含むアジアクルーズ再開にカウントダウン

2023年10月から半年間の長期シーズンがスタート
16クルーズ、11か国、9出発港、1クルーズの終日航海日数は2日未満
新規出航地はフィリピンと韓国



2023年5月15日(東京) - 56年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきたノルウェージャンクルーズライン(NCL)が2023年10月19日、3年ぶりにノルウェージャン ジュエルが東京に戻るのを機に、いよいよアジアでの運航を再開します。

NCL
NORWEGIAN
CRUISE LINE®

ノルウェージャンクルーズライン アジア太平洋地区バイスプレジデント兼マネージング・ディレクターのベン・エンジェルは、「3年以上の時を経て、アジアクルーズが大々的に復活です！日本の皆様には、ノルウェージャン ジュエルの日本寄港を首を長くして待っておられたと思います。規模が小さめのノルウェージャン ジュエルは、日本を始めアジアのあまり知られていない港を探索するのに最適な大きさです。また、オーストラリアで大人気のディスコ&コメディショーVelvetをはじめ、地元のクルーズファンの皆様に愛されるサービスをご提供します」としています。

ノルウェージャン ジュエルは、6か月間の長期アジアシーズン中、東京と横浜、台北(台湾/基隆)、バンコク(タイ/レムチャバン)、バリ(インドネシア/ベノア)、クアラルンプール(マレーシア/ポートクラン)を含む9港を出航地に11か国を訪れる全16クルーズを実施。それぞれの寄港地の魅力が存分に織り込まれています。クルーズ日程は10~14日間で、フィリピンのマニラ、韓国のソウル(仁川)が初出航地として、また次の6港が新規寄港地として加わります。

- ・ フィリピンのマニラ、ボラカイ、パラワン、サロマグ
- ・ インドネシアのビンタン島
- ・ 台湾の花蓮



寄港地没入型の日程では、日本、フィリピン、インドネシアといった人気上昇中のデスティネーションの魅力を発見できる国別クルーズ、旅の締めくくり地上観光ができるオープンジョー日程、少なく抑えられている終日航海日数、港での長時間滞在やより多くのオーバーナイトステイなどに焦点が当てられて企画されています。1クルーズあたりの終日航海日数は平均2日未満で、シンガポールやベトナムのホーチミンなどでは最大13.5時間の滞在。プーケット、大阪、バリ(ベノア)など夜間に賑わう場所ではオー



NORWEGIAN CRUISE LINE®

バーナイトステイも増加し、活気あるアジアを最大限楽しめるクルーズ揃いです。

ノルウェーجان ジュエルについて

乗客 2,376 名様 のノルウェー جان ジュエルは、13 か所のバーと 15 か所のダイニングオプションを誇り、その中には 3 つのアジアンレストランがあります。寿司、鉄板焼き、チンチンの 3 か所で展開のアジア料理レストランでは、フレンドリーなスタッフが出来立ての麺類や炒め物を提供します。スポーツコートでバスケットボールを楽しんだり、タラソテラピープール、スチームルーム、サウナを備えたマンダラスパ & サーマルスイートでウェルネスを満喫したりも。拍手喝采に沸くエンターテイメントはクイーン、ジャーニー、ザ・フーなどのロックレジェンドの曲が懐かしい『ロック・ユートウナイト』。また定番ディスコミュージックの『ターン・ザ・ビート・アラウンド』、『ブギー・ワンダーランド』などにコメディ、キャバレー、アクロバットの要素が加えられたオーストラリアの人気ミュージカル『Velvet』など。



新しく生まれ変わった船は、ステートルーム、スイートルーム、バスルームを含むすべての客室が一新され、自宅のくつろぎ感が増しました。また、上質嗜好の向きには、船内最上階に位置するザ・ヘブン by ノルウェー جانも。ザ・ヘブンには、最高級スイートと 8 名まで宿泊可能なヴィラがあり、コンシェルジュや 24 時間バトラーサービス、ザ・ヘブン宿泊者専用のサンデッキやプールを備えています。

NCL
NORWEGIAN
CRUISE LINE®



期間限定で NCL ではこのアジアシーズン全体を対象に 5 つのボーナス特典(フリードリンクパッケージ、Wi-Fi パッケージ、スペシャリティダイニングパッケージ、寄港地観光クレジット、3/4 人目特典)と共に最大 35% の割引特典が用意されています。

アジアシーズンのハイライト:

- 10 日間の アジア: 神戸、名古屋、釜山、富士山。横浜から東京まで。寄港地は高知、鹿児島、釜山、長崎などとオーバーナイトステイの京都(大阪)を含む 9 港。2024 年 3 月 31 日発。\$2,614 から。





NORWEGIAN CRUISE LINE®

- 11 日間の**アジア**: [シンガポール、タイ、ベトナム](#)。マレーシアのクアラルンプール（ポートクラン）から、ベトナムのホーチミン、カンボジアのシアヌークビル、タイのコサムイなど 9 都市を経由してタイのバンコク（レムチャバン）まで。2023 年 12 月 11 日発。\$1,366 から。
- 11 日間の**アジア**: [大阪、高知、名古屋、姫路](#)。台湾の台北（基隆）から日本の東京まで。終日航海日なし。寄港地は沖縄、富士山（清水）と、オーバーナイトステイの京都（大阪）を含む 11 港。2024 年 2 月 29 日発。\$1,689 から。
- 11 日間の**アジア**: [タイ、ベトナム、マレーシア](#)。シンガポール発で、マレーシアのランカウイ島、ペナン島、タイのプーケット島、サムイ島を経由してバンコク（レムチャバン）まで。2024 年 1 月 5 日発。\$1,849 から。

ノルウェー جان ジュエルのアジアクルーズは[こちら](#)から。

ノルウェー ジャンクルーズラインについて

ノルウェー ジャンクルーズラインはその 56 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズパッケージを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 18 隻の保有船が、ノルウェー ジャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ（バハマ）やハーベストケイ（ベリーズ）を始め、400 近い世界の人気 destinations を隈なく巡っています。ノルウェー ジャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェー ジャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は@NorwegianCruiseLine。Twitter は@CruiseNorwegian。

ノルウェー ジャンクルーズラインは、ノルウェー ジャンクルーズライン・ホールディングスの完全子会社。詳しくは www.nclhltd.com で。

【発行元】ノルウェー ジャンクルーズライン PR 株式会社 Flair